

令和2年度 第4回 豊後大野市地域公共交通会議
豊後大野市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日時：令和3年2月3日（水） 10：00～
場所：豊後大野市役所 5F 委員会室



1. 開会

事務局：ただいまより、令和2年度「第4回豊後大野市地域公共交通会議及び豊後大野市地域公共交通活性化協議会」を開始いたします。

2. 会長あいさつ

会長：みなさんおはようございます。副市長の石井です。本日はご多忙のところお越しいただきありがとうございます。今年度はコロナウイルスの感染拡大で、公共交通にも様々な影響が出ております。予防策と活性化策の両輪で考えていきたいと思っております。今日は利用促進に関する高校・大学からの発表と報告事項1点、議題が議案2点となっております。皆様の闊達なご議論を宜しくお願いいたします。

3. 令和2年度「豊後大野市・大分大学・三重総合高校連携公共交通利用促進事業」調査結果の発表について

- ① 三重総合高校
- ② 大分大学経済学部（まちづくり班）
- ③ 大分大学経済学部（交通班）

事務局：学生のみなさん、発表ありがとうございます。それでは、大井先生より、発表についてのまとめをお願いいたします。

大井委員：まずは、関係者の皆様に感謝を申し上げたいと思います。

この事業はこれまで高齢者の方を対象に実施してきましたが、高齢者の方も免許保有者が増えてきており、公共交通を利用しない方も多い状況になっています。

そこで今年は、公共交通の利用経験が少ない高校生をターゲットとして利用促進を考えることにしました。一方で、豊後大野の公共交通の運行頻度は、大都市と比べてかなり低頻度であり、利用する際は、待ち時間も長くなるため、待合環境を良くしていくという取組みも必要です。そこで、三重町駅前通りでの町の賑わいについての検討を行いました。こちらのプロジェクトは、大分大学の経済学部と理工学部が連携した取組みとしてもかなり貴重な機会になったのではないかと思います。

今の発表をお聞きになって、会長からもコメントをいただければ、と思います

会長：今年度は、コロナ禍の中での取組みということで、色々大変であったかと思いますが、ここまで研究をいただいて、誠にありがとうございます。人口減少が進む中で、若い人の地元への定着は重要課題であり、こうした取組みを通じて少しでも若い人が豊後大野に愛着を持って残ってもらうようになればよいと思います。

事務局：それでは、大野竹田バスの橋本社長より、発表についてのご意見をお願いいたします。

橋本委員：まずは、こういう研究をさせていただいてお礼を申し上げます。

高校生からは、バスは不便で役割を果たせていない、という意見をいただいたとも思っておりますので、今後、その対応を検討していきたいと思います。

事務局：今後、路線バスの利用促進を考えるにあたっては、学校や保護者、生徒のみなさんにも色々ご協力をいただくことも出てくるかと思えます。始めてみないと分からないこともあるかと思えますので、試験的に何か開始するなども検討できれば、と思います。

(三重総合高校から大野竹田バスに、マスクの寄贈)

4. 報告事項

① 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価等について

事務局：資料の説明（省略）

会長：それでは、ただ今の内容に関しまして、質問・意見などありましたらよろしく申し上げます。

吉岡委員：少し補足になりますが、今回の事業評価については、第3回の交通会議で書面決議ということで委員の皆様にはご協力いただいたところです。

事業評価のスケジュールについては、6月に申請、9月末に交付決定、そして1月に評価を行います。現在は、37系統まとめて評価されていますが、系統別あるいは地区別でもいいですが、もう少し細かに評価していただくことも検討いただければ、と思います。

会 長：それでは、次の議題に移りたいと思います。

5. 議題

① バス停コンテスト及び優良乗務員の表彰について

事 務 局：資料の説明（省略）

会 長：今の説明に対し、ご意見等ございましたらお願いいたします。

芦刈委員：以前の協議会でも申し上げたのですが、優良乗務員の表彰にあたって、副賞は用意されないのでしょうか。

事 務 局：優良乗務員の表彰をスタートさせた時に、当時、タクシー協会の委員であった三重タクシーの神品社長にご相談したところ、物品は会社の方で対応するので、表彰だけがいいですよ、というご意見をいただいております。

芦刈委員：先ほどの話は、別のタクシー会社様の方からご相談があったものですから、何か検討いただければ、と思います。

会 長：他にご意見等無いようですので、この議案につきましては了承いただくということでよろしいでしょうか。

一 同：異議なし。

② コミュニティバス運行内容の変更について

事 務 局：資料の説明（省略）

会 長：今の説明に対し、ご意見等ございましたらお願いいたします。

脇委員：変更理由に関しまして、「利用がない」というのと「利用が少ない」というのがあるかと思いますが、この2つの違いはどういうもののでしょうか。

事 務 局：「岡倉」というバス停の廃止については、以前は利用者がいたのですが、ここ2年ほどは利用が全くない状況です。地元を確認したところ、利用されていた方は転居されて、今は利用する人もいないということで、「利用がない」という理由にしました。

「犬飼公民館」については午前の便では若干の利用があるので残すのですが、路線により、行き・帰り両方で停車するようになっておりましたので、時間短縮のためにも停車は1回だけということにしました。よってこの場合は「利用が少ない」という理由にしました。

会 長：他にご意見等無いようですので、この議案につきましては了承いただくということでよろしいでしょうか。

一 同：異議なし。

6. その他

大井委員：1点追加補足ですが、理工学部の姫野先生から、先ほどの学生の発表でワークショップはボランティアの協力により実施された、という内容になっていたようですが、今回の事業はボランティアではなく、建設課様からの発注で、(株)オオバ様が受託されている事業の一環として行っていますことを申し上げます。

川野委員：先ほど、コミュニティバスの変更のお話がありましたが、変更される地域の方のみでよろしいですが、自治会への通知をよろしくお願いします。

事務局：4月からの変更内容につきましては、時刻表を配布するとともに、回覧などで周知を図る予定としています。

会長：他に何かございますか。それでは無いようですので、終了させていただきます。

7. 閉会

事務局：これにて閉会いたします。本日はありがとうございました。

令和2年度「豊後大野市地域公共交通会議」「豊後大野市地域公共交通活性化協議
会」
委員名簿

(以下敬称略、順不同)

	氏名	所属等	出欠
会長	石井 聖治	行政機関(市) 豊後大野市副市長	○
副会長	川野 博美	住民代表 豊後大野市自治会連合会長	○
委員	矢野 源平	豊後大野市コミュニティバス関係者 豊後大野市コミュニティバス運営協議会長	○
委員	芦刈 憲司	地元経済団体 豊後大野市商工会長	○
委員	三浦 健	行政機関(県) 大分県豊後振興局地域創生部長	○
委員	後藤 裕司	行政機関(県) 大分県豊後大野土木事務所長	○
委員	福田 雄一郎	行政機関(警察) 大分県豊後大野警察署交通課長	○
委員	井上 貴志	鉄道事業者 JR九州(株) 大分鉄道事業部 運輸課長	×
委員	脇 紀昭	一般旅客自動車運送事業者(組織する団体) (一社)大分県バス協会専務理事	○
委員	漢 二美	一般旅客自動車運送事業者(組織する団体) (一社)大分県タクシー協会会長	×
委員	橋本 憲康	一般旅客自動車運送事業者 大野竹田バス(株)代表取締役	○
委員	日坂 泰弘	一般旅客自動車運送事業者 豊後大野市タクシー協会会長	○
委員	赤嶺 勝己	運転手が組織する団体 大野竹田バス乗務員代表	○
委員	渡海 一成	運転手が組織する団体 豊後大野市タクシー協会乗務員代表	○
委員	大井 尚司	学識経験者 大分大学経済学部門教授	○
委員	吉岡 順一	九州運輸局大分運輸支局 首席運輸企画専門官(企画調整担当)	○
委員	本田 勝司	九州運輸局大分運輸支局 首席運輸企画専門官(輸送・監査担当)	○
委員	朝倉 誠一	行政機関(市) 福祉有償運送担当 豊後大野市社会福祉課長	○
委員	後藤 樹代文	行政機関(市) 高齢者福祉担当 豊後大野市高齢者福祉課長	○
委員	玉ノ井 浩司	行政機関(市) 市道管理者 豊後大野市建設課長	○
委員	内野宮 俊介	行政機関(市) スクールバス担当 豊後大野市学校教育課長	○
委員	小野 律雄	行政機関(市) 公共交通担当 豊後大野市まちづくり推進課長	○